

Ⅷ 資料

1. 災害時の対応について

台風地震など非常変災、その他緊急事態発生の恐れがあるときは、児童の安全を確保するため次のような措置をとることになっています。あらかじめ家庭での対応を相談しておいてください。

「暴風を含む警報」または「特別警報」が発令されている場合

- ・午前7時現在で発令中の時は、学校は臨時休業になります。

(長期休業中以外は、放課後児童クラブも臨時閉所になります。)

テレビの天気予報やニュースで確認をしてください。学校から連絡はありません。



(1) 警報の発令中は、外出しないこと。

(2) 解除後外出する時は、危険な場所に近づかないこと。

- ・危険な場所 河川 (大雨により増水の危険があります。)

切れた電線、倒れそうな樹木、落ちそうな看板等

- ・午前7時現在で発令されていない場合は、通常通り登校させてください。

ただし、発令されていない場合でも、気象状況や通学上、危険が予想される場合は、状況により自宅待機、始業時間の繰り下げ等を行うことがあります。その場合は緊急メール配信等で連絡をします。

※登校後「暴風を含む警報」「特別警報」が発令されることが予測される場合は、下校時刻を繰り上げるなどの措置をとることがあります。その場合は、緊急メール配信等で連絡をします。(給食未実施の場合は放課後児童クラブも臨時閉所になります。)

校内に不審者が侵入したり、予測できない非常事態がおこったりした場合も、その後の対応については、緊急メール配信等で連絡をします。

「Jアラート(全国瞬時警報システム)による緊急放送」があった場合

(以下、国民保護ポータルサイトより引用)

- (1) 屋外にいる場合：できる限り丈夫な建物や地下に避難する。
- (2) 建物がない場合：物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- (3) 屋内にいる場合：窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

学校始業時刻までに本県域に「Jアラートによる緊急放送」があった場合

①自宅にいる場合

一旦、自宅待機とします。その後の「登校するか臨時休業か」の連絡については、できる限り早く、緊急連絡メールや電話等でお知らせします。

②すでに登校途中で自宅に近い場合

上記(1)～(3)の避難行動をとり、一旦帰宅して自宅待機とします。その後の「登校するか臨時休業か」の連絡については、できる限り早く、緊急連絡メールや電話等でお知らせします。

③すでに登校途中で学校に近い場合

上記(1)～(3)の避難行動をとり、そのまま学校に登校とし、学校において安全確保に努めます。

学校始業時刻後に本県域に「Jアラートによる緊急放送」があった場合

学校において上記（１）～（３）の避難行動をとり、安全確保に努めます。
 なお、下校等の連絡は、状況を見て緊急連絡メールや電話等により、保護者へ連絡します。

長浜市で災害がおこったら

予想される災害（長浜市総合防災マップより）



1. 地震

予想される地震	マグニチュード	湖北町内の被害想定
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震	7.8	震度7（下山田、二俣、八日市、猫口、青名、沢、大安寺、山本、五坪、大光寺、田中、海老江） 震度6強・弱（他の地区）
南海トラフ巨大地震	9.0	震度5強（一部震度5弱）

- ①グラツときたらまず身の安全を確保します。
- ②火の元確認・窓や戸を開け出口の確保をします。（屋外にあわててとびださない）
- ③家族の安全を確認・近所の安全を確認し、協力し合って救出・救護します。
 一時避難場所（公民館等）→ その後指定避難所（学校等）へ移動します。

2. 洪水

予想される水害	湖北町内の被害想定
最大浸水被害 姉川・高時川 725mm／36時間 余呉川 698mm／12時間 琵琶湖 555mm／120時間 200年に1度の大雨被害 131mm／1時間	浸水 2m～5m想定 留目、小今、馬渡 浸水 1m～2m想定 丁野、郡上、伊部、別所、賀、高田、八日市、猫口、沢、今、山本、五坪 浸水 0.5m～1m想定 二俣、河毛、速水、大光寺、田中、海老江、東尾上、尾上 浸水 0.5m以下 山脇、大安寺、南速水、小倉、青名、延勝寺、今西、津里、石川 土砂災害警戒区域 上山田、下山田、丁野、美濃山、郡上、山脇、別所、伊部、山本、津里、石川

※自治会内でも被害想定が異なります。詳細は、長浜市が発行する総合防災マップ等で確認してください。

①大雨時、状況を常に確認します。

ラジオ テレビデータ放送（NHK・びわこ放送）等

②高齢者等避難

避難の準備を整え、防災無線、安全・安心メール、ラジオで情報を確認します。

避難に時間がかかるお年寄りや子どもは、この段階で避難をはじめましょう。

③避難指示

一刻も早く避難場所に避難します。時間のない人は、近くの安全な場所に避難します。

（高い建物等）

3. 原子力災害

予想される被害	湖北町内の被害想定
原子力発電所でトラブルや事故が発生	人体に被害を与える放射線量が測定 UPZ（防災対策を重点的に実施すべき地域） 上山田、下山田、二俣、丁野、八日市、 青名、猫口

①屋内退避指示 家の中に入り、窓やドアを閉め、エアコンや換気扇の使用を控えます。

外にいた場合は、衣服を脱いで着替え、着ていた服はビニール袋に入れます。顔や手をよく洗います。

テレビや、ラジオで情報を収集します。

②避難指示

フード付きの上着と長ズボン、手袋、靴下など、できるだけ肌が隠れる服装で避難します。

避難場所について

1. 一時避難場所

各自治会で指定されている場所（公民館、自治会館、広場、神社、寺等）

2. 湖北町内の指定避難所

学区	施設名称	所在地	電話番号	指定緊急避難場所	
				地震時	大雨時
小谷	小谷小学校	小谷丁野町 524	78-0036	○	○
速水	速水小学校	湖北町速水 2561-1	78-0018	○	○
	湖北中学校	湖北町速水 1191	78-1213	○	○
	湖北体育館	湖北町速水 1210	—	○	○
	湖北文化ホール	湖北町速水 2745	78-1287	○	○
朝日	朝日小学校	湖北町山本 1125	79-0002	○	
	山本山運動広場体育館	湖北町山本 2868	—	○	○

※指定避難所とは、

災害発生時に被災者が一定期間避難生活を送るための施設。災害対策基本法に基づいて市町村長があらかじめ指定する場所です。指定避難所には、最低限の寝具等避難生活に必要なものが備蓄されています。災害時には、物資等の配給場所にもなります。

※指定緊急避難場所とは、

災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から一時的に身の安全を確保するための場所です。

家庭で日頃から心がけておくこと

1. もし、災害がおこったらどうするか話し合っておきましょう。

災害は、家族が別々にいるときに起こることもあります。前もって防災マップ等を見て、「どんな道順で、どこに逃げるか。」「家族がどこで集まるか。」を決めておきましょう。

2. 最低限の非常持ち出し品を確認しておきましょう。

3. 災害が起こったときのために3日分の食料と水を用意しておきましょう。

目安 飲料水 1人2～3L



米 2kg（家族5人）×3日分 ※レトルト食品でも可

4. 防災情報をメールやアプリで入手するために、事前登録しておきましょう。

あらかじめ登録した携帯電話やパソコンのメールアドレス等に、避難情報、災害の発生情報等の防災情報や気象情報、地震情報等をメールやアプリで受け取ることができます。登録料は無料です。

【登録方法】

2次元コードから登録していただくか、指定のアドレスに空メールを送信してください。

安全・安心メール・LINE	Yahoo!防災速報（アプリ）
t-nagahama@sg-m.jp へ空メールを送信	https://emg.yahoo.co.jp/ 閲覧
【登録用 QR コード】 	【登録用 QR コード】 

※日頃から災害への正しい情報と備えを学んで家族みんなで大切な命を守りましょう。